

### <校区の概要>

本校は、国道268号線重留交差点から東へ約1km、丘陵地の南端に位置し、伊佐市街地まで約5km、菱刈商店街まで約4kmの距離にある。校舎屋上から遙か南東に霧島連山の韓国岳を望み、南及び西には豊かな水田地帯が広がり、その先には紫尾山系の山々を遠望できる。

校区は、九州山地の山麓から伊佐盆地に流れ込む市山川、重留川及びその支流によって形成された扇状地を中心とする水田地帯と低い丘陵地からなり、北部は市山川を隔てて大口と接し、南は標高200m前後の台地に囲まれている。

校区民の教育に対する関心は高く、とりわけ社会体育、スポーツ活動に熱心である。また、平成4年度から校区公民館組織を結成し、文化面の活動についても積極的な取り組みがなされている。平成20年度に旧菱刈町と旧大口市が合併し、伊佐市になった際、校区公民館は校区コミュニティ協議会に改称している。

自治公民館や子ども会の活動も活発で、郷土芸能の継承や保存に集落ぐるみで取り組み、子どもたちの「ふるさと学習」の生きた教材にもなっている。

P T Aは、文化祭、親子読書、コーラス活動、自転車運転免許試験などの伝統を継承するとともに、専門部や学級P T A、家庭教育学級などの活動をとおして新しい時代に即した学習するP T Aをめざしている。

